

こうち子ども 未来フォーラム2022



実施
報告書

ディス
カッション
テーマ

- ◎ 将来の夢・未来の私
- ◎ 10代でしたいこと・経験したいこと
- ◎ 私たちのSDGs行動宣言～2030年の未来のために～
【目標14】海の豊かさを守ろう 【目標15】陸の豊かさも守ろう
- ◎ 『支え合い』の力～未来の『高知』を考えよう～



高知県子ども条例の概要

基

子どもは、次代の社会をになう大切な存在。
年齢や成熟度に応じ、成長できること。



本

子どもが、家庭や学校、地域社会の活動を通じ、
人間性や社会性を育むことができる環境をつくること。

理

子どもが、成長とともに高い規範意識や自尊心、
他者を思いやる心を身に付けることができる環境をつくること。

念

保護者や学校関係者等、地域社会や行政が
子どものために連携すること。



保護者の責務

家庭は子どもの育つ基盤であり、保護者は子育てについて重要な役割を持ち、子どもを大切に育てる責務があります。

また、子どもが高い規範意識を身に付け、自ら力を発揮して成長することができるよう、深い愛情を持って育てなければなりません。



学校関係者等の責務

学校関係者等は、子どもの安全を確保する必要があります。

また、子どもが安心して、学びながら成長することができる教育環境づくりに努めなければなりません。

連携



県民の責務

県民は、大人の意識や行動が子どもに与える影響の大きさを自覚し、自らの規範意識を高める必要があります。

また、子どもが健やかに成長することができる社会環境づくりに努めなければなりません。



行政の責務

県や市町村は互いに連携し、子どもが健やかに成長することができる環境づくりに関する施策を策定し、実施する責務があります。

また、地域の住民が協力して行う取組を支援しなければなりません。

※この条例において、「子ども」とは、18歳未満の者をいいます。

目次

INDEX

概 要	02
講 演	
講演テーマ・でっかい夢！美しい願い！	
講師・安藤桃子 氏(映画監督)	03
グループディスカッション	
●A グループテーマ / 将来の夢、未来の私	04
●B グループテーマ / 将来の夢、未来の私	06
●C グループテーマ / 10代でしたいこと・経験したいこと	08
●D グループテーマ / 10代でしたいこと・経験したいこと	10
●E グループテーマ / 私たちのSDGs 行動宣言 ～2030年の未来のために～ ... [目標 14]海の豊かさを守ろう	12
●F グループテーマ / 私たちのSDGs 行動宣言 ～2030年の未来のために～ ... [目標 15]陸の豊かさも守ろう	14
●G グループテーマ / 「支え合い」の力～未来の「高知」を考えよう～ ...	16
専門家講評	18
アンケート	20
参加者名簿	25

こうち子ども 未来フォーラム2022



2022

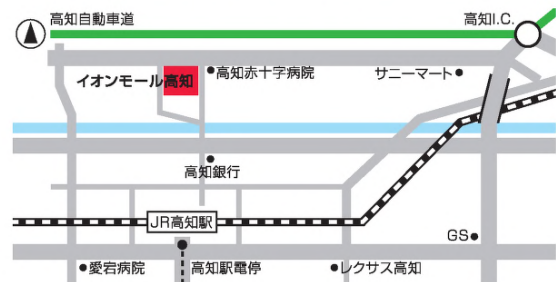
11/23

水祝

13:00 ▶ 16:00



イオンモール高知
2階 イオンホール



13:00
13:10 **オープニング・主催者挨拶**

13:10

講師

安藤 桃子氏

13:50

テーマ

でっかい夢! 美しい願い!

グループディスカッション

14:00

テーマ1 将来の夢・未来の私

15:20

テーマ2 10代でしたいこと・経験したいこと

テーマ3 私たちのSDGs行動宣言~2030年の未来のために~
【目標14】海の豊かさを守ろう 【目標15】陸の豊かさを守ろう

テーマ4 「支え合い」の力~未来の「高知」を考えよう~

15:30

16:00 **プレゼンテーション**

10代の子どもたちが語る場がある。



講師・安藤 桃子氏 (映画監督)

■講演テーマ であっかい夢！美しい願い！



映画撮影を機に高知に移住した映画監督「安藤桃子」氏を迎え、ご講演いただきました。

まず、フォーラムのために用意いただいた、安藤氏がどのような活動をしているのかを知ることが出来る動画を、会場で視聴しました。

動画によりキネマ M での活動を共有し、施設ができる過程から映画館としてだけでなく、様々なイベントを開催したとお話をいただきました。そして、日本ではキネマ M のような小さな映画館は減少していますが、安藤氏は必要だといいます。その理由として、大きな映画館では観ることができない作品があり、その作品を一つ一つ丁寧にセレクトして上映することができることを挙げられ、現在は、ネット上で様々な作品が観られるようになっていますが、映画館に足を運んで生身で感じる体験は、忘れられないものになり、来場した人たちの中に残っていくものであると語っていただきました。

また、映画や絵画といった芸術作品は、その作品に芸術があるわけではなく、観る人によって感じ方は異なるため、芸術は観る人の側にあるといいます。「自分はそういう感性や、クリエイティブは苦手」という気持ちがある子もいるかもしれないけれど、生まれてここにいる限り、誰もが「感じる心」を持っていると、想いを込めて語っていただきました。

1982年、東京都生まれ。2010年『カケラ』で脚本・監督デビュー。

2011年初の長編小説『0.5ミリ』を上梓
2014年監督・脚本し映画化。

プロフィール
『0.5ミリ』の撮影を機に2014年、高知県へ移住。その後、監督・脚本した映画「ウタモノガタリCINEMAFIGHTERS project『アイオウ』」は2018年に公開。

ミニシアター「キネマM」の代表や、表現集団「桃子塾」塾長、子どもたちが笑顔の未来を描く異業種チーム「わっしょい!」では、農・食・教育・芸術などの体験を通し、全ての命に優しい活動にも愛を注いでいる。

そして、会場で子どもたちにプレゼントしていただいた「トウルシーの種」を元にお話をいただきました。このトウルシーは、生命力が高く、育てる夏の時期に「倍に倍に」増えていくと。この生命力と広がり自然界の摂理で、それは私たちも同じなんだと語りかけました。友だちがいて、これからもいろいろな人と出会い、一つのきっかけが必ず次につながって発展していく。また、人は一人では発展を生み出すことはできず、みんなつながっており、そのことを常に忘れないでほしい。さらに、自分の人生で今まで何をしてきたかという一つのきっかけが、大きな出口につながるんだと語っていただきました。

最後に「形にする」ということをお伝えいただきました。何か思ったら、まずは動かしてみる。そこから具現化し、生まれて、展開が始まる。これが夢を叶えることに必ずつながっていく行動であり、「わがままじゃなくて、自分は何がしたいかな？」に耳を澄ませて、これからも歩んでいってください。」とメッセージをいただきました。



A グループ

将来の夢・未来の私

高知南高等学校 3年 高知小津高等学校 2年

田村 水音 / 田植 美至

高知国際高等学校 2年

高知学芸高等学校 1年

ファシリテーター

清水 健陽

越智 洸太郎

大坪 繭李



僕たちは、「目の前を精一杯に」という目標と「勉強」というキーワードを立てました。

模造紙に記載している勉強(参考:勉の「力」の部分「ム」と表記)という文字が少し異なります。ここでは、世間一般に言われる勉強ではなく、5教科以外の勉強も大事にしていこうという意味を含めました。

僕には、世界の子どもたちを幸せにするという夢があります。そこで、グローバルに世界で活躍するためには、まずは自分がどう見られているのかが大事であると考えました。また、英語も必要であると感じ、英語の勉強に励んでいます。



私の将来の夢は、小学校の先生になること、そして自分の意思で行動ができるような人になることです。そのために、現在、課外活動や、学校の成績の評定を上げることを頑張っています。

私は、もっと絵で人に伝えられるような人になりたいという思いから、将来漫画家になりたいという夢があります。これから、多くの技術を大学で学んでいきたいです。



私の将来の夢は、より良い社会をつくっていく政治家になることです。5教科の勉強以外に本、新聞、動画等で政治学の勉強もしています。これが自分の未来へと繋がっていくと信じています。

以上、4名の発表からもおわかりいただけたかと思いますが、例えば課外活動の充実、政治学の勉強、絵の練習、これらは単に5教科の学習ではありません。「目の前のことを精一杯頑張っていく」それが私たちの未来へとつながっていきます。これからも私たちは頑張っていきます。



Bグループ

将来の夢・未来の私

高知南高等学校3年 高知小津高等学校2年
井上 優生 / 山口 心響

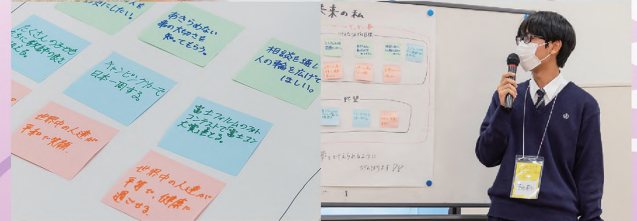
高知中央高等学校2年 ファシリテーター
釣井 秀斗 / 廣瀬 香乃



私たちは、それぞれの将来の夢と、その夢を叶えたいのでっかい夢をまとめました。

私たちの将来の夢は、中学校または高校の教師になる、障がい者を支える仕事に就くこと、訪問看護師になることです。

この将来の夢を叶えるためにやらなければいけないこと5つをカテゴリーにまとめました。



1つ目は、勉強です。教育や教科の勉強、言葉の表現を磨くこと、病気に関する知識を深めることがあげられました。

2つ目は、資格です。英検を取得すること、教員免許を取ること、社会福祉士免許を取ることを頑張ります。

3つ目は、人とのつながりです。例えば、人見知りを克服するためにボランティアや、たくさんの人との交流をすることが大事であると考えます。

4つ目は、生活面です。元気であり続けるために、早寝早起きや、スマホ離れをすることを心がけます。

5つ目は、基礎的なことですが、部活などを努力するということです。

次に私たちのでっかい夢について話をします。先ほど話した将来の夢を叶えたいうでの目標です。

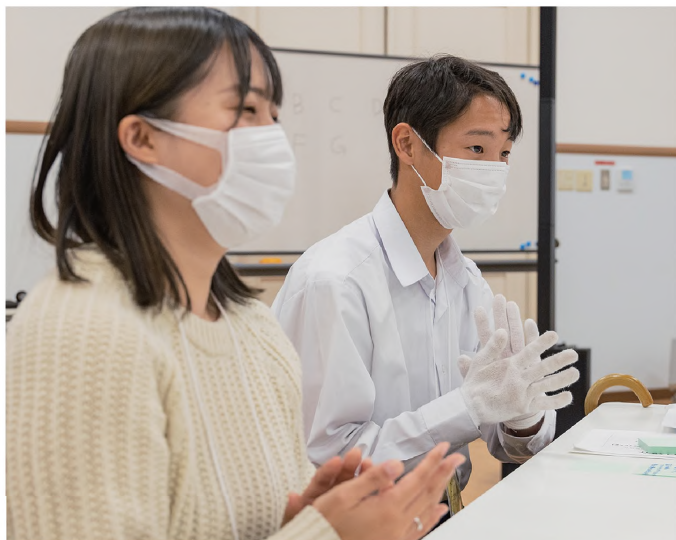


まず、井上君の目標は、たくさんの人を笑顔にすること、諦めないことの大切さを知ってもらうこと、相談を通じて、人の輪を広げることです。また、釣井君の目標は、たくさん子どもたちに教師の良さを伝えることです。私の目標は、世界中の人たちが平等で健康に笑顔で過ごせることと、国際ボランティアに参加することです。

最後に、個人的な野望を紹介します。私の野望は富士フィルムのフォトコンテストでフジコン大賞を受賞し、賞金100万円を獲得することと、キャンピングカーで日本一周をすることです。

私は、フクロウと海外の一軒家で暮らすことです。

私たちはこのような将来の夢を叶えるために日々努力を積み重ねていこうと思いました。



将来の夢・未来の私

将来の夢

- 勉強: 教育や教科の勉強、言葉の表現を磨く、病気に関する知識を深める
- 資格: 英検取得、教員免許取得、社会福祉士免許取得
- 人との繋がり: ボランティア、人見知りを克服、人との交流
- 生活面: 元気でいる、早寝早起き、スマホ離れ
- 基礎: 部活、努力

でっかい夢

叶えたい目標

- たくさんの人を笑顔にしたい
- 諦めないことの大切さを知ってもらう
- 相談を通じて人の輪を広げたい
- 世界中の子どもたちに教師の良さを伝える
- 世界中の人たちが平等で健康に笑顔で過ごせる
- 国際ボランティアに参加

野望

- 富士フィルムのフォトコンテストでフジコン大賞を受賞し、賞金100万円を獲得
- キャンピングカーで日本一周
- フクロウと海外の一軒家で暮らす

夢を叶えられるようにがんばります!!




Cグループ
10代でしたいこと
・経験したいこと

高知中央高等学校 1年 島本 育弥 / 春野高等学校 2年 井上 このか
高知小津高校 2年 鍋島 渚 / ファシリテーター 陶山 理乃



私たちは、「10代でしたいこと・経験したいこと」について3つにまとめました。

1つ目の、学校外経験では、アルバイトとボランティアが出ました。アルバイトでは、人と関わることができ、対応力が身につくという意見が出ました。例えば、コンビニの店員や接客などでの経験です。ボランティアについては、自分から行かないと経験できないということがわかりました。

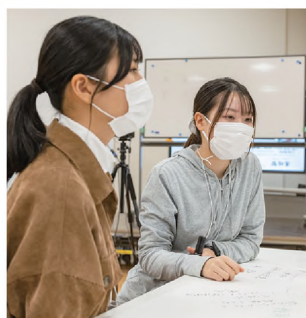


2つ目は勉強です。勉強という大きなテーマでくると、勉強と夢に向けての経験は似ているという意見が出ました。そしてそれらは、将来への近道だということでもとまりました。

また、息抜きというテーマでは、友達と旅行やいろんな場所に行くなど、勉強の息抜きのために楽しむという意見が出ました。勉強と息抜きは、循環しているという意見でもとまりました。

3つ目は、学校内の経験についてです。学校外の経験とは違い、文化祭や体育祭など、友達を含め、人と関わることが多いという意見が出ました。

将来を楽しむためにも、今しかできない経験をする事や、失敗を恐れず積極的に様々なことに取り組むこと、学校行事など、「10代でしたいこと・経験したいこと」は、自分が活躍できるチャンスをつかんで自分のために頑張ることでもとまりました。



10代でしたいこと・経験したいこと

- 学校外経験**
 - 人と関わる 対応力が身に>>
 - 例) コンビニ 接客
 - 自分から10代らしい経験をする
- 勉強**
 - 未来のための近道
 - 夢への近道
- 学校内の経験**
 - 体育祭
 - 文化祭

息抜き

まとめ

- 将来楽しむために、今しかできない経験をしよう!
- 失敗を恐れず積極的にいろんなことに取り組む!
- 学校行事や自分のできる活躍できるチャンスをつかんで自分のために頑張る

D グループ
10代でしたいこと
・経験したいこと

高知丸の内高等学校 1年 春野高等学校 2年
佐野 伶武 / 中島 望蘇乃

高知小津高等学校 2年 ファシリテーター
岡 依吹 / 小川 来夏



私たちは、「10代でしたいこと・経験したいこと」について話し合い、「さまざまな人の考えを受け入れる姿勢をつくる」という結論に至りました。

そのために何が必要なのかを、2つにまとめました。

1つ目は社会経験です。例として、ボランティアに参加する。留学をするなどの経験があげられます。

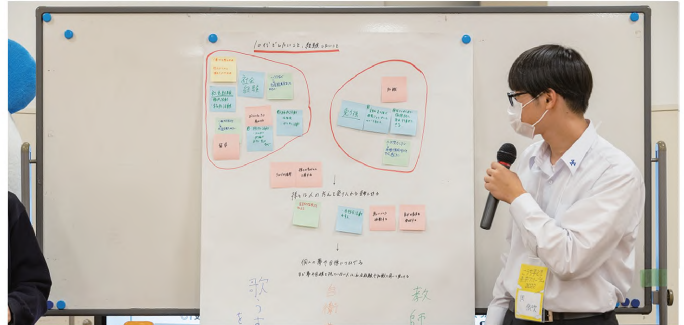
2つ目は知識です。知識は、勉強や努力をすることで身に付き、論理的に考え行動できるようになると考えます。



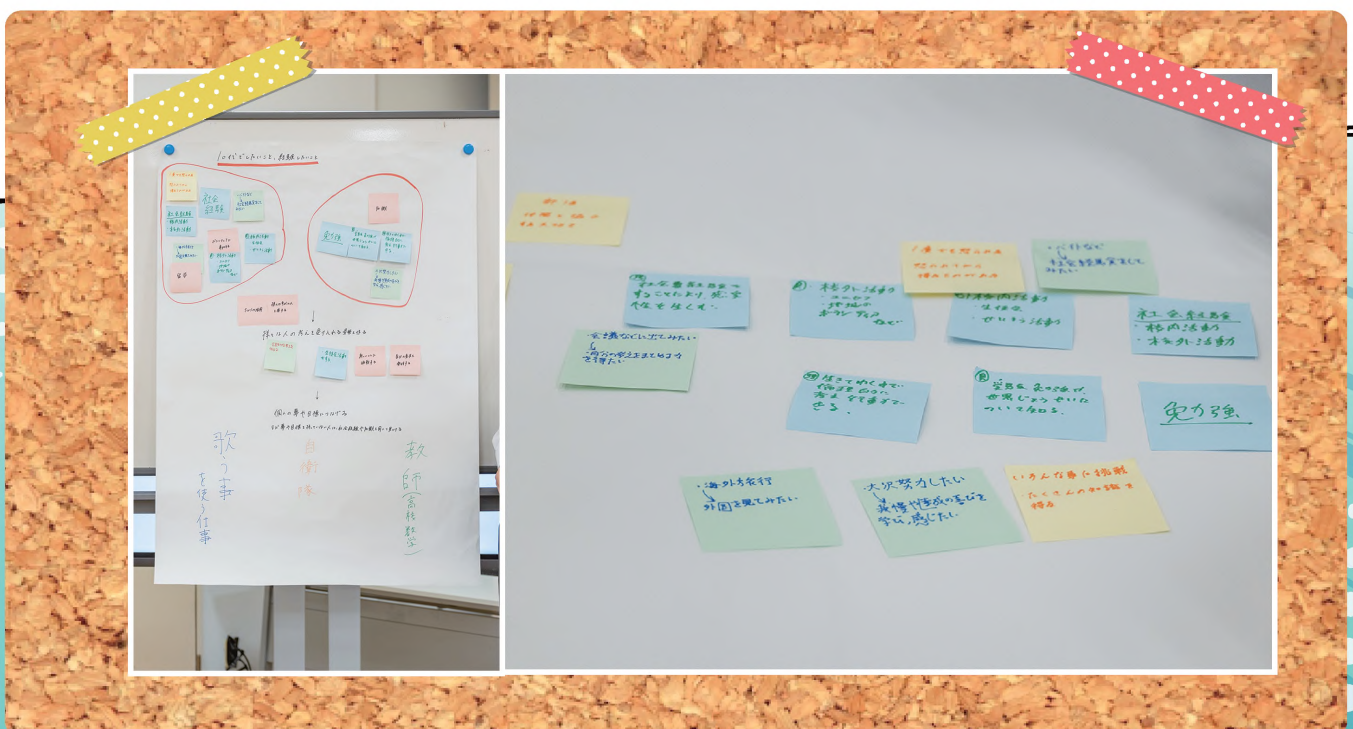
この社会経験と知識、さらにSNSの活用やさまざまな年代の人と接することで、「さまざまな人の考えを受け入れる姿勢をつくること」ができるのではないかと考えました。

次に、「10代でできること」についてですが、大学生も10代に含まれます。そこで僕たちは、「中高生にしかできないこと」に注目し、生徒会活動をすることや、新しいことに挑戦することで、自分を表現することが大切ではないかと考えました。

結果として、これらは全て、個人の夢や目標につながっていきます。例えば、僕の夢は教師になることです。そのために、子どもたちと触れ合い、さまざまなことについて多くの大人と考える機会を大切にしていきたいと思います。



また、「さまざまな人の考えを受け入れる姿勢をつくること」は、自分のことをよく知ることにもつながり、自分の夢や目標を見つけることのきっかけになるのではないのでしょうか。



Eグループ
私たちのSDGs 行動宣言
 ～2030年の未来のために～ (目標14-海の豊かさを守ろう)

春野高等学校1年 平田 夏奈海 / 中村高等学校2年 木村 小春

春野高等学校2年 矢野 菜月 / ファシリテーター 栗田 紗季



私たちは、SDGsの「海の豊かさを守ろう」について話し合いました。

まずはじめに、SDGsが存在する理由について、一般の方に未来のためにできることを明確に見せる必要があったからではないかと考えました。

さらに、SDGsに対するイメージについては、手遅れなイメージというマイナスなものから、環境を良くするためにあるというプラスのものまでありました。

そしてSDGsに対する疑問は、多くて何から取り組んだら良いかわからない、実際に効果が出ているのかわからないというものが挙げられました。

次に、現状についてです。二酸化炭素の排出量を減らす、ヨーロッパに比べて日本は電気自動車の普及率が低いということが挙げられました。



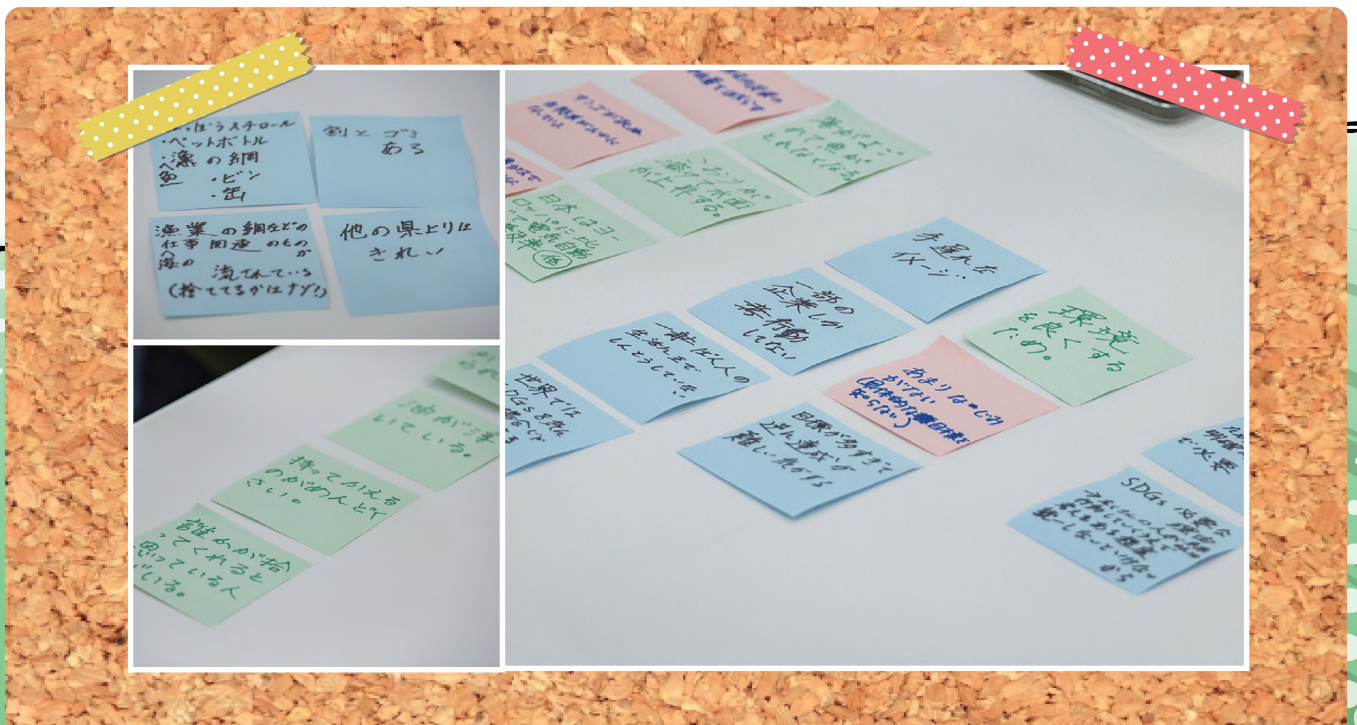
高知県の現状は、年に1、2回清掃活動をしているが、発泡スチロールやペットボトル、漁の網、ビン、缶、油、船の油など、まだまだゴミがあります。

理由としては、持ち帰るのが面倒くさい、荷物になる、みんなが捨てるから、少しぐらいならと海や川に遊びに来た人が、ゴミを捨てているからだと思います。

解決策として、ゴミを捨てることで起こる被害を、幼いころから意識してもらうために、幼稚園や小学校の頃から学んでいくこと、ゴミを捨てる場所に囲いを作って、風や雨で流れるのを防ぐことが必要でないかと思えます。さらに、ゴミ同士をくっつくようにすること、幼い頃から意識をするきっかけとして、きれいにしたら「人魚が見られるよ」と話をしたり、人魚に電話できるアプリを作ることも考えました。



自分自身ができることとしては、ボランティア活動への参加、エコバッグを持ち歩く、ゴミを捨てない、友人や家族が捨てるのを見たら注意する、周囲の人や後輩への呼びかけがあげられました。消費できる量のものしか買わない、ゴミは家で捨てる、自分で出したゴミは自分できちんと処理することを意識し、ニュースを観る、ボランティア冊子を活用してボランティアを知るなど、知識も身に付けていきたいです。



Fグループ
私たちのSDGs 行動宣言
～2030年の未来のために～ (目標15-陸の豊かさを守ろう)

須崎総合高等学校1年 高知小津高等学校2年
戸田 浩人 / 片岡 あさひ

高知小津高等学校2年 ファシリテーター
六久保 侑希 / 北窪 あみ



私たちの班は、「陸の豊かさを守ろう」というテーマについて考えました。そこで考えた行動宣言が、「必要な分だけ利用する、食品マークを見ること」です。

「陸の豊かさを守ろう」というテーマの課題として、食品ロスが多いことや、大気汚染、ポイ捨て、不法投棄があること、資源の無駄遣いなどが挙げられました。

解決方法の1つ目は、FSCの商品を買うことです。FSCとは、環境に配慮した商品で、食品や木のおもちゃなどにも貼られています。



次に、食べ残さない、出しっぱなしやつけっぱなしをしない、要らなくなったものを人に譲る、バザーに出品するといった無駄が出ないようにすることも大切です。

その他にも、ゴミ拾いなどのボランティア活動、5Rの徹底、募金活動などが挙げられました。

これらは、今からでもできるので、皆さんも一緒にやってみましょう。



Gグループ
「支え合い」の力
～未来の「高知」を考えよう～

高知学芸高等学校3年 橋詰 拓尚 / 楠原高等学校2年 森本 春菜

土佐女子高等学校2年 安田 愛香音 / ファシリテーター 横田 銀大 / ファシリテーター 藤澤 采加



私たちは、「支え合い」の力について考えました。

最初に、私たちが支えられている人について話し合いました。家族や学校の先生、友達、社会で活躍している店員さん、地域の人、地域の高齢者など、多くの人たちが挙がりました。

その中で地域に注目します。地域の人との支え合いという関わりを大切にするために、僕たちは日頃から何ができるのか？何を大切にしたらいいのか？ということについて考えました。まず、日頃から挨拶をし、交流を深めていこうじゃないかという意見が出ました。それに加え、高知県に来たくなる魅力を発信するために、地域の特色を生かしたイベントなどを行うことにより、さらに多くの人に認知してもらおうという意見も出ました。



次に、私たちが支えたい人たちについて考えました。まず、LGBTQ+、女性に関しては、私たちが具体的にできる行動として、「～なのに」「～だから」といった決めつけた発言をしないということがあげられました。若い世代だけでなく、先生や親などの世代の人たちの考え方なども、少しずつ変わっていけばいいと思います。

次に子どもと子育て世帯に関する対策としては、地域で子どもたちを見守ることがあげられ、具体的に、お世話を手伝えるなどが私たちにできる行動と考えます。また、おつりをもらったら募金するという意見では、社会全体をより良くしていくために、私たちが明日からでもできる行動だと考えました。

さらに、「課題をみんなに知ってもらおう」「選挙で投票する」「1ターンスやすい環境をつくる」「最低賃金の



向上」では、この地域と社会、どちらもより良くしていくためにできる対策だと考えました。特に1ターンスやすい環境づくりのために、具体的な対策を考える必要があります。高知県は大学が少ないため、高校卒業後に県外へ出る人も多く、高知県が奨学金を給付し、その条件として将来的に高知県へ戻るといった仕組みをつくるのはどうだろうかと考えました。

最後に、このテーマに沿って、私たちが社会を支えていくことで、高知の未来がより明るくて良いものになっていくのではと考えます。





テーマ／将来の夢・未来の私
高橋 一誓

皆さん、本日はお疲れさまでした。

自分たちの時代は人のために何かをしてあげようという人があまりいなかったと思うんですが、今皆さん、訪問看護をやりたいとか、看護師をやりたい。先生になりたい。これって今とてもしんどい仕事だと思うんですよ。それをあえてやりたいと皆さんが願っているのが素晴らしいなとも思いました。これから皆さん、いろいろあると思いますが、夢に向けて一生懸命走って行っていただければと思います。

本日はありがとうございました。



テーマ／10代でしたいこと
・経験したいこと
辻村 幸生

今日は、「10代でしたいこと・経験したいこと」というところでアドバイスさせていただきました。

まず、今日集まっている学生の皆さんの意識の高さに正直びっくりしました。また、こういった普段会うことのない高校生とのコミュニケーション、ディスカッションを開いている高知県の意識の高さというのはすごいなと思いました。

印象に残った言葉で、「楽しく生きたい」ということを言った子がいました。また、「さまざまな意見を聞く力をつけたい」という意見も出ました。それは本当に大切なことで、皆さん今高校生ですけれども、早い子たちは高校卒業、遅くても大学卒業、要は2年、4年後ぐらいに就職するわけですね。社会人となってお金を稼いで生活をしていかなければならないということになります。

自分の好きなこと、得意なことはいち早く気づいてそれに向かって、この高校生、10代の時間を使っていってもらったらうれしいです。ところが、その自分の好きなこと、得意なことって自分自身が気づいてないことが多いんじゃないかなというのは思ってます。僕は30(歳)のときに船やボートが好きだと気づき、独立してボート屋を始めたんですけど、たくさん勉強できる学生時代にそういうことがわかっていたら、もっと楽しい時間を過ごせて、より人のために地域に貢献できるようになっていたのではないかと思います。日常的なコミュニティというのは、高校でのクラスメイトとか、部活動ということになって、ほとんどが同じ年、意見の合う人同士でしか集まってないというのが現実ではないでしょうか。その中では、なかなか自分の得意なこととかを見つけること

が難しいというのは思っております。

そこで、今日、皆さんが集まっているのは、種だと思っですね。その種を育てていくということは、例えば、地域ボランティアとかに出て行く、異世代のコミュニティに積極的に出て行くということが大切なんじゃないかなと思っております。その中で、地域の先輩方にいろんなご指導をいただき、自分の得意なこととかを教えていただいたり、向いているところに導いてくれたりということが可能になるんじゃないかなと思っております。

最後になりますが、高知県の一番面白いところは何かと言いますと、人が少ないところで、人がつながりやすいということです。高知県ってご縁がすべてなんです。

ご縁を増やすためにも地域活動に出て行ってもらいたいんですが、社会人になるとご縁がつながることが非常に多いです。なので、そのつながったときに恥ずかしくないように生きていかないと、変な話、恥ずかしいことをしていたらご縁がなくなるときに、そのご縁が悪い縁につながったりするんですね。高知県から出て行ってもそうなんですけども、いろんなところに出て行って、チャンスをつかんで、頑張って正々堂々と生きていってほしいということをお願いしたいと思います。

本当の最後なんですけど、「叱られたい」という意見もありました。ちょっとびっくりしまして。今まで怒られたことがないってということになると思うんですが、皆さん、本当に優秀で一人一人目標と夢をきちんと語れて素晴らしいと思うんですね。ただ、この時間を何かゴールとしているような感じがちょっと見受けられるんですね。ここで終わりではなく、ここから羽ばたけるようにこの会をつなげていってほしいと思っております。



テーマ/私たちのSDGs 行動宣言
～2030年の未来のために～
岩瀬 文人

今日は、14番の海の豊かさを守ろうのチームと、15番の陸の豊かさも守ろうの2つのチームの様子を見させていただきました。

海のほうの話は、基本的にゴミの話に収束していったんですけども、なかなかゴミの問題というのをかなり深く考えていて、とても面白かったです。解決策の中に、「人魚が見れるよという話にしましょう」とか、ユニークな発想をする子がいたのがとても気持ちよかったです。あとの話もそうなんですけども、せっかくユニークなものが出たんだからもっとユニークを前に出せばいいのってちょっと思いました。前に出て発表するときれいにまとまった話にしてしまった感じがして、ちょっとだけ残念でした。もっとユニークを前面に出して欲しかったなと思います。

陸の豊かさも守ろうのほうは、最初、なかなか（意見が）出てこなくて大変だったんですけども、非常にユニークな発想が出てくる子がいました。このユニークを上手に、壊さないように話を引き出していたいて、とても見ていて面白かったです。

ちょっとハラハラするような、これ、まとまるんやろうか？と思ったときもありましたけど、無事にまとまって、とても良かったかなと思います。話としては、海のチームでいうとゴミの問題のようにまとまらず、いろんなことを全体に見るような形で自分たちに

何ができるだろうかという話になりました。

ほかのチームの方々もそうなんですけど、私もとてもユニークな人間だと思います。自分はちょっと変わり者だなと思ってここまで暮らしてきました。世の中は変わり者が作っています。ユニークな人たち、ぜひ自分を型にはめようとしないで、ユニークなまんま伸びていって欲しいと思います。今日、ここに来てるといっただけでも相当ユニークな人たちなので、ぜひ頑張ってユニークを伸ばしていってください。ありがとうございました。



テーマ/「支え合い」の力
～未来の「高知」を考えよう
石村 紗也香

こちらのテーブルのテーマは、地域とか、未来の高知がどうなっているかということで少し広くて難しく、その中で皆さん真剣に考えられていました。日頃、皆さんが考えていること、それぞれで自分が問題に思うテーマというのがまた違って、ほかの学校の皆さんと意見をぶつけ合うということがすごく素晴らしい場所だなとまず感じました。

ぜひこの10代の学生のうちに皆さんにたくさん興味があることにチャレンジしていただきたいなと思います。

学生時代は、ボランティアに参加する機会は生徒会以外だとなかなかなかったり、身近ではないと思います。しかし自分は、こういうテーマが好きだ、こういう仕事に将来就きたいという気持ちで、ネット検索してみると、既にそういうテーマで活動している団体は高知県内にたくさんあります。その方たちは若者の皆さんと一緒に活動できることをとても楽しみにしています。

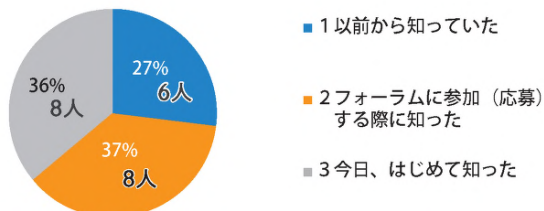
高知県について、学生の頃でないと知れないこともあると思います。また、今自分が働いていて、すごく高知県にいて良かったなと思うことがたくさんあります。

皆さん、学生時代に、勉強とはまた違うところで何かチャレンジしてみてください。

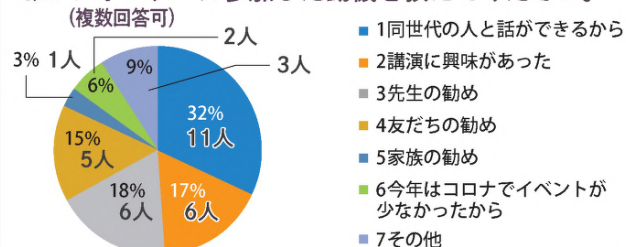


ディスカッション参加者

Q1. あなたは「高知県子ども条例」を知っていましたか？



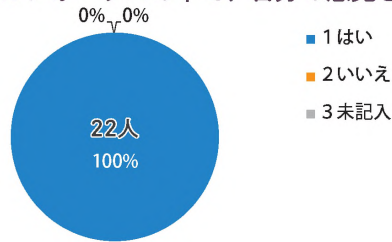
Q2. フォーラムに参加した動機を教えてください。（複数回答可）



Q3. フォーラムに参加した感想をお聞かせ下さい。

- 様々な意見が聞けて、これからの自分に役立てた
いことが見つかった。
- 自分の考えを発表することができて楽しかった。
- たくさんの人と意見交流をすることができ、子ども委員としてもっと活躍したいと思った。
- 同世代と自分の将来について、高知の未来について話せてよかった。
- グループの人達が、たくさんの意見を持っていて、自分にはないような考えも共有できてよかったです。
- 色々な意見を聴くことができてよかった。
- 日頃関わる機会が無い他校の人と充実した話し合いをすることができ、非常に楽しかった。自身の今後の活動に活かしていきたい。
- 色々な人の意見を聞いて面白かった。
- 同じテーマで同世代の人たちと話ができて、すごく楽しかった。
- 自分にはない意見を聞いたり考えたりできて楽しかった。
- 司会緊張しました。でもすごく楽しいフォーラムだった。
- 普段考えないようなことを考えることができた。勉強になった。
- グループワークでいろいろな人と話ができよかったです。
- 初めは緊張したが、グループ内で会話が弾んでよかったです。
- 最初はどううまく話せるか不安で、緊張していたけど、大学生の方が優しく声をかけてくださったり、一緒のグループになった方たちも話しやすく、打ち解けるのも早かった気がします。
- 初めて会う他校の人と話すのは緊張したけど、自分の意見や考えを発言し、プレゼンテーションができてよかった。
- 自分で考える力が身についた。
- 他の人と関わりを持ちながら活動ができ、充実していました。
- いろいろな人の意見や将来像を知ることができ、それに対する思いを聞くことができた。

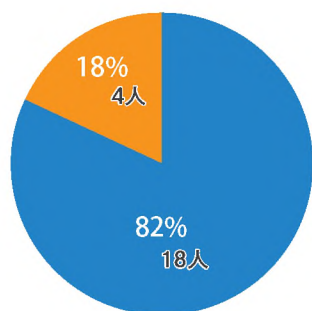
Q4. フォーラムの中で、自分の意見を言えましたか？



Q5. 同世代の人や、専門家の話、ファシリテーターの話を聞いてどう思いましたか？

- 皆がわかりやすいように、意見をまとめていて分かりやすかった。
- 納得することが、とてもあった。
- ファシリテーターの人は、社会の先輩であるため、社会での経験を教えてくれ、専門家や同世代の人と話すことで、感受性が育めた。
- それぞれが意見を持っていて、新しい視野から物事をみることができました。
- 自分にできることから始めていけば、より良い地球になると思えました。
- 自分には無い視点で面白かった。
- 個人個人夢は違えど、目の前の事に努力することの重要性を再確認した。
- 自分と同じ意見や真反対の考えの人もいて、考えさせられることがあって経験してよかったです。
- 参考になった。
- 色々な情報をもたらったり、専門家目線の意見をもらえたので、自分の将来に役立ちそうです。
- 面白い話がきけて良かった。
- SDGsについて、改めて考えて、とても良い経験だった。
- 参考になった。もう少し話をしたかった。
- 色々知っているなと思った。
- SDGsが意外と難しい。
- 自分と違った意見が多く聞けた。
- みんなしっかりしている。すごい。自分もしっかり者になりたい。
- 自分の知らないことを知っていたり、知識が多い分、ためになる話がきけてよかったです。
- 自分とは違う意見を聞いて、自分の価値観が上がりました。
- とても良い経験になった。
- 自分がもっていない視点からの話を聞くことができ、新たな気づきがあり面白かった。
- 自分にはまだ見えていないことが多くあると気がつくことができた。

Q6. 事前に想像していたフォーラムと実際のフォーラムのイメージは違っていましたか？

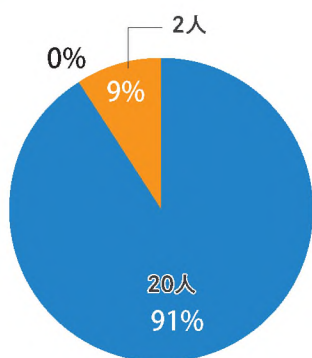


- 1 想像していたとおり
- 2 想像と違っていた

※「2. 想像と違っていた」場合、
どのような点が違っていましたか？

- 人数
- もっと堅い感じかと思っていた。
- そこまで堅苦しくなかった。

Q7. 次回も「こうち子ども未来フォーラム」に参加したいですか？



- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 未記入



※どのような内容なら参加しやすい（参加したい）ですか？

- 今の自分に大切なもの
- 高知県の未来
- SDGsについて、海や陸のことは身近じゃなくて、少し難しいテーマだと感じました。
- 具体的な社会政策を思案する。
- 今SNSの時代なので、SNS上で活躍している人の話を聞いてみたい。
- もっと楽にディスカッションしたい。
- テーマというより、場全体が堅いように感じる。
- 今と同じでいいと思う。
- 身近な話題。
- 将来の夢について。
- 最近の若者は大人が言うように「質が低い」のか。
- 大人になったらしてみたいこと。
- 自分の身の回りについて。
- 将来のことややりたいこと。

ファシリテーター・専門家

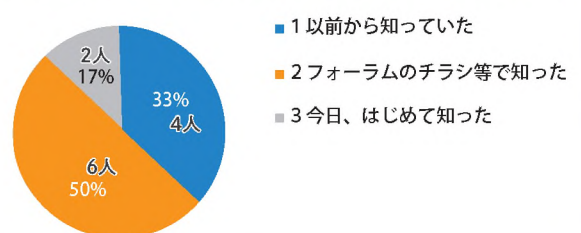
Q1. 子どもたちの意見（発表）を聞かれてどう思いましたか？

- 自分の高校時代より、はるかに意識が高く驚いた。
- 将来像や社会の課題に対する自分の意見をしっかりと持ち、それに必要な行動を起こせていてすごい。
- 自分が中高生の時に感じていなかった、様々な意見を持っていてすごいと感じました。
- いろいろな意見があって面白かった。
- 自分にはなかった発想や視点が多く、興味深かった。
- 意見がたくさん出て、高校生らしさのあるフォーラムでした。
- みんなそれぞれ内に秘めている夢・想い・考えをもっており、それをグループ内で交流することで磨きがかかって様々な経験・行動に移っていくのだと思いました。
- 人のために何ができるかをしっかり考えている方が多く、驚きました。
- しっかりして、自分たちの時代とは違うなと思いました。人の為に頑張れる、人の為に尽くす、日本のことを考え、行動する若者を応援したいと思いました。
- みんなよく勉強していると思う。ユニークな発想をする子がいるのに、まとめるときれいにまとまっていたのが残念。ユニークをもっと伸ばして欲しい。
- 素晴らしいが、うまくまとめすぎ？現場につなげていける工夫。
- 「支え合いの力」という、他グループより少し幅広いテーマで意見だしに悩むこともあったと思いますが、皆さんそれぞれ意識している社会テーマが異なっていたり、LGBTの問題や貧困世帯のことなど、かなり難しい社会問題にまで一人ひとりが目を向けていることが大変素晴らしいと思いました。

Q1. あなたは「高知県子ども条例」を知っていましたか？

①以前から知っていた	4
②フォーラムのチラシ等で知った	6
③今日、はじめて知った	2
合計	12

Q1. あなたは「高知県子ども条例」を知っていましたか？



Q2. フォーラム全体を通じての感想をお聞かせ下さい。

- 進行が不慣れで学生の方に迷惑をかけたが、普段接することの少ない高校生と話ができ楽しかった。
- 同じテーマでも意見は様々で、とても面白かった。ユニークな意見を大切にしていきたい。
- このようなフォーラムを中高生の時に参加したかった。と思うような意義のあるフォーラムだったと思います。
- 将来とか環境とか思ったより考えているなと思った。
- 最初のディスカッションでは、なかなかアイデアが浮かばずに苦戦したが、徐々に話し合いを深めることができ良かった。高校生の意識の高さや知識量に驚かされ、良い刺激になった。
- みんなが初めて会ったとは思えないくらい積極的な生徒が多く、自分も頑張らないといけないと痛感しました。
- とても楽しく、貴重な体験をさせていただいたと思っております。普段関わることのできない高校生や安藤桃子さんの講演を聴講し、自分の中で改めて考えることがたくさんありました。
- ファシリテーターは緊張しましたが、高校生の方々と関わることができ楽しかったです。
- こういったイベントは、どんどんやればいいと思います。フォーラムを通じ分かったことは、今の若者は大人より日本の未来をしっかりと考えていると思いました。
- こういうイベントが毎年行われているのを知らなかった。どんどんやって欲しい。
- いい仕掛けだと思います。現場でも交流できる機会を。
- 今回、経験・知識不足にも関わらず、貴重な経験を積ませていただき、ありがとうございました。今日をきっかけに、県・市でもつながりを持って、子どもたちの明るい社会を考えていけたらと思います。

Q3. 次回開催時に改善した方が良いお気づきの点がありましたらお聞かせ下さい。

- 最後の発表をきれいにまとめようとしないように、想いが表れるようにしてほしいと思います。
- 学生の声が聴きにくかった。(マスクのため)

こうち子ども 未来フォーラム2022

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

ディスカッション参加者

Aグループ テーマ / 将来の夢・未来の私

高知南高等学校	3年	田村 水音
高知小津高等学校	2年	田植 美至
高知国際高等学校	2年	清水 健陽
高知学芸高等学校	1年	越智 洸太郎

Bグループ テーマ / 将来の夢・未来の私

高知南高等学校	3年	井上 優生
高知小津高等学校	2年	山口 心響
高知中央高等学校	2年	釣井 秀斗

Cグループ テーマ / 10代でしたいこと・経験したいこと

高知中央高等学校	1年	島本 育弥
春野高等学校	2年	井上 このか
高知小津高等学校	2年	鍋島 渚

Dグループ テーマ / 10代でしたいこと・経験したいこと

高知丸の内高等学校	1年	佐野 伶武
春野高等学校	2年	中島 望蘇乃
高知小津高等学校	2年	岡 依吹

Eグループ テーマ / 私たちのSDGs行動宣言(目標14-海の豊かさを守ろう)

春野高等学校	1年	平田 夏奈海
中村高等学校	2年	木村 小春
春野高等学校	2年	矢野 菜月

Fグループ テーマ / 私たちのSDGs行動宣言(目標15-陸の豊かさを守ろう)

須崎総合高等学校	1年	戸田 浩人
高知小津高等学校	2年	片岡 あさひ
高知小津高等学校	2年	六久保 侑希

Gグループ テーマ / 「支え合い」の力~未来の「高知」を考えよう~

高知学芸高等学校	3年	橋詰 拓尚
梶原高等学校	2年	森本 春菜
土佐女子高等学校	2年	安田 愛香音

講師

映画監督	安藤 桃子
------	-------

専門家

映像ディレクター	高橋 一誓
さめうらプロジェクト	辻村 幸生
高知生物多様性ネットワーク	岩瀬 文人
高知市地域コミュニティ推進課	石村 紗也香

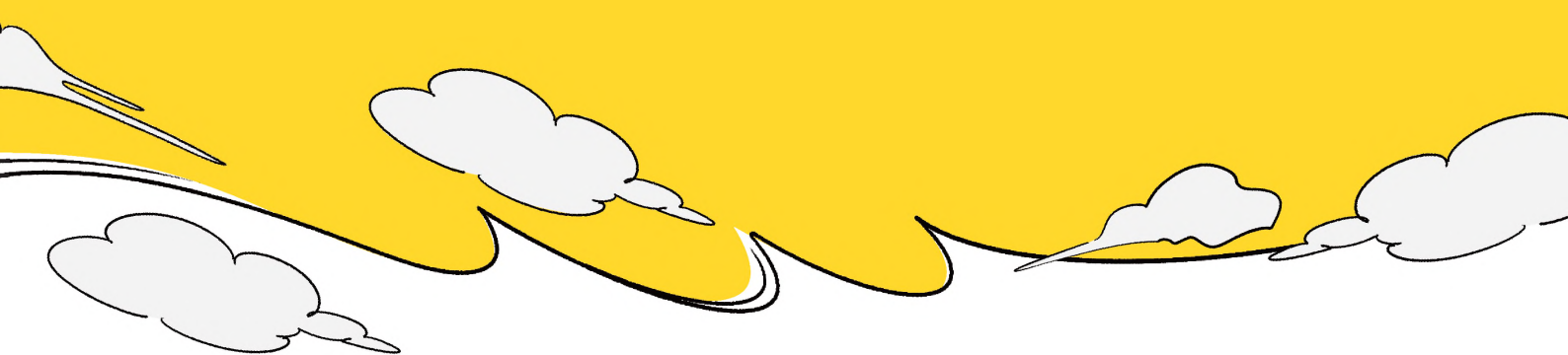
ファシリテーター

高知学園大学	大坪 蘭李
高知県立大学	廣瀬 香乃
高知県立大学	陶山 理乃
高知県立大学	小川 来夏
高知県立大学	栗田 紗季
高知県立大学	北窪 あみ
高知大学	横田 銀大
高知大学	藤澤 采加

司会

須崎総合高等学校	1年	戸田 浩人
高知中央高等学校	1年	島本 育弥





高知県子ども・福祉政策部 子育て支援課



〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目2番20号
TEL:088-823-9640 FAX:088-823-9658